

色紙種類	詩句	署名 空欄は無署名	筆記用具	枚数	出典	裏面	筆記用具	出典		
半紙 34×24.5	母は花のように美しくなくてよい	いしがきりん	筆	1枚	母の景色	朝日新聞 (レモンとねずみ)				
	海は青くない		筆	1枚	海のながめ	表札など				
	秋がきていた 遠くからきた、という 遠くへ行こう、という		筆	1枚	旅情	表札など				
	姿見の中でじっとみつめる私はるかな島		筆	3枚	島	表札など				
	海よいうてはなりませぬ空もだまっていますゆえあなたがだれで私が何か 誰もまことは知りませぬ		筆	10枚	契	ユーモアの鎖国				
練習用色紙 27×24	秋がきていた 遠くからきた、という 遠くへ行こう、という		筆	1枚	旅情	表札など				
	自分の住むところには自分で表札を出すに限る。		マジック	1枚	表札	表札など				
	私の前にある鍋とお釜と燃える火と		サインペン	1枚	私の前にある鍋とお釜と燃える火と	私の前にある鍋とお釜と燃える火と	私の前にある鍋とお釜と燃える火と (顔と鍋の絵も)	サインペン	私の前にある鍋とお釜と燃える火と	
	私の前にある鍋とお釜と燃える火と		マジック	1枚	私の前にある鍋とお釜と燃える火と	私の前にある鍋とお釜と燃える火と	夜中に眼をさました ゆうべ買ったシジミたちが 台所のすみで 口をあけて	黒色鉛筆	シジミ	表札など
	私の前にある鍋とお釜と燃える火と		サインペン	1枚	私の前にある鍋とお釜と燃える火と	私の前にある鍋とお釜と燃える火と	荷を持つと力が働いた「落ちるよ」 あぶない空の崖っぶちで地球がひきとめる思いやり だから重かった私たちにとっていつも愛は	サインペン	荷	略歴
	荷を持つと力が働いた「落ちるよ」 あぶない空の崖っぶちで地球がひきとめる思いやり だから重かった私たちにとっていつも愛は		サインペン	1枚	荷	略歴	荷を持つと力が働いた「落ちるよ」 あぶない空の崖っぶちで地球がひきとめる思いやり だから重かった私たちにとっていつも愛は	サインペン	荷	略歴
	姿見の中でじっとみつめる私はるかな島		筆	1枚	島	表札など	いちにちひとと晚いちまいの闇を重ねてさびしいなあ困ったなあ	筆	ひとと晚	略歴
	姿見の中でじっとみつめる私はるかな島		筆	1枚	島	表札など	表面と同じ			
	姿見の中でじっとみつめる私はるかな島		筆	2枚	島	表札など				
	海よいうてはなりませぬ空もだまっていますゆえあなたがだれで私が何か 誰もまことは知りませぬ		筆	1枚	契	ユーモアの鎖国	姿見の中でじっとみつめる私はるかな島	筆	島	表札など
	海よいうてはなりませぬ空もだまっていますゆえあなたがだれで私が何か 誰もまことは知りませぬ		筆	3枚	契	ユーモアの鎖国				
	子供お前はいまちいさいのではない、私から遠い距離にあるということなのだ		サインペン	1枚	子供	表札など				
	家はきんらんどんす馬子にも衣装おかちめんこがきどる夜		サインペン	1枚	家出のすすめ	表札など				
	いちにちひとと晚一枚の闇をかぶって人は寝た。ふつかふた晚二枚の夜を重ねて人は夢みた		筆ペン	1枚	子守唄	略歴				
	家は漬け物の重石人間味を出して下さい。まあ、すっぱくなったこと。		マジック	1枚	家出のすすめ	表札など	私の前にある鍋とお釜と燃える火と	マジック	私の前にある鍋とお釜と燃える火と	
	墓碑銘さようなら石垣りんさん 47,1		サインペン	1枚						
	色紙型紙 27×24	海よいうてはなりませぬ空もだまっていますゆえあなたがだれで私が何か 誰もまことは知りませぬ		筆	1枚	契	ユーモアの鎖国			
海よいうてはなりませぬ空もだまっていますゆえあなたがだれで私が何か 誰もまことは知りませぬ			青マジック	2枚	契	ユーモアの鎖国				
海よいうてはなりませぬ空もだまっていますゆえあなたがだれで私が何か 誰もまことは知りませぬ			マジック	4枚	契	ユーモアの鎖国				
海よいうてはなりませぬ空もだまっていますゆえあなたがだれで私が何か 誰もまことは知りませぬ			マジック・筆	1枚	契	ユーモアの鎖国				
海よいうてはなりませぬ空もだまっていますゆえあなたがだれで私が何か 誰もまことは知りませぬ			筆ペン	1枚	契	ユーモアの鎖国				
秋がきていた 遠くからきた、という 遠くへ行こう、という		りん	マジック	2枚	旅情	表札など				
日本語こころの産土私の国その僻地に住む			黒色鉛筆	2枚						
日本語こころの産土私の国その僻地に住む			サインペン	1枚						
子供お前はいまちいさいのではない、私から遠い距離にあるということなのだ			サインペン	1枚	子供	表札など				
そこで僕が死ぬ日には僕はもっと上手に～おいしいおいしい死に方をする			サインペン	1枚	童謡	表札など				
和紙 27×24	海よいうてはなりませぬ空もだまっていますゆえあなたがだれで私が何か 誰もまことは知りませぬ		サインペン	1枚	契	ユーモアの鎖国				
	海よいうてはなりませぬ空もだまっていますゆえあなたがだれで私が何か 誰もまことは知りませぬ		青万年筆	1枚	契	ユーモアの鎖国				
	海よいうてはなりませぬ空もだまっていますゆえあなたがだれで私が何か 誰もまことは知りませぬ		黒色鉛筆	2枚	契	ユーモアの鎖国				
	海よいうてはなりませぬ空もだまっていますゆえあなたがだれで私が何か 誰もまことは知りませぬ		サインペン	1枚	契	ユーモアの鎖国				
厚ボール紙 36×25.5	荷を持つと力が働いた「落ちるよ」 あぶない空の崖っぶちで地球がひきとめる思いやり だから重かった私たちにとっていつも愛は	(横書き)		1枚	荷	略歴		表面と同じ		
	海よいうてはなりませぬ空もだまっていますゆえあなたがだれで私が何か 誰もまことは知りませぬ			1枚	契	ユーモアの鎖国				

小型色紙 21×18	海よいうてはなりませぬ空もだまっていますゆえあなたがだれで私が何か 誰もまことは知りませぬ	サインペン	4枚	契	ユーモアの鎖国				
	海よいうてはなりませぬ空もだまっていますゆえあなたがだれで私が何か 誰もまことは知りませぬ	黒色鉛筆	1枚	契	ユーモアの鎖国				
	秋がきていた 遠くからきた、という 遠くへ行こう、という	マジック	1枚	旅情	表札など				
色紙 27×24	秋がきていた 遠くからきた、という 遠くへ行こう、という	サインペン	1枚	旅情	表札など				
	家はいじらしい陣地ぶんどり品をみんなはこびたがる。（「ち」を「じ」に直してある）	サインペン	1枚	家出のすすめ	表札など				
	家はいじらしい陣地ぶんどり品をみんなはこびたがる。	サインペン	2枚	家出のすすめ	表札など	表面と同じ			
	家は漬け物の重石人間味を出して下さい。まあ、すっぽくなったこと。	サインペン	2枚 (1枚表示)	家出のすすめ	表札など	荷を持つと力が働いた「落ちるよ」 あぶない空の崖っぶちで地球がひきとめる思いやり だから重かった私たちにとっていつも愛は	サインペン	荷	略歴
	いちにちひと晩一枚の闇をかぶって人は寝た。ふつかふた晩二枚の夜を重ねて人は夢みた	サインペン	1枚	子守唄	略歴	表面と同じ			
	いちにちひと晩一枚の闇をかぶって人は寝た。ふつかふた晩二枚の夜を重ねて人は夢みた	筆	1枚	子守唄	略歴				
	海よいうてはなりませぬ空もだまっていますゆえあなたがだれで私が何か 誰もまことは知りませぬ	サインペン	7枚	契	ユーモアの鎖国				
	海よいうてはなりませぬ空もだまっていますゆえあなたがだれで私が何か 誰もまことは知りませぬ	筆	4枚	契	ユーモアの鎖国				
	子供お前はいまちいさいのではない、私から遠い距離にあるということなのだ	サインペン	1枚	子供	表札など				
自分の住むところには自分で表札を出すに限る。	サインペン	1枚	表札	表札など					
峠よ あれは峠だ と呼んで もう幾年こえない人が 向こうの村に こちらの村に 住んでいることだろう あれは峠だ と朝夕こころ に呼んで	サインペン	2枚 (1枚表示)	峠	私の前にある鍋とお釜と 燃える火と					
荷を持つと力が働いた「落ちるよ」 あぶない空の崖っぶちで地球がひきとめる思いやり だから重かった私たちにとっていつも愛は	サインペン	1枚	荷	略歴					

伊藤信吉 色紙									
小型色紙	21×18	1枚							
色紙	27×24	7枚							